

八 重瀬町水資源のあり方に関する域円卓会議 を開催しました！

2022年3月8日(火)、八重瀬町役場2階大会議室にて「八重瀬町水資源のあり方に関する地域円卓会議」を開催しました。オンライン参加者も含めて38名(行政、農関係、教育機関、学生等)が参加し、2名の論点提供者と5名のセンターメンバーによって熱のこもった話し合いが行われました。

■論点提供者

- ・島添 和博 氏 (八重瀬町役場 土木建設課)
- ・安元 純 氏 (琉球大学 農学部)

■着席者

- ・久保正雄 氏 (具志頭区長)
- ・ぐしともこ 氏 (湧き水 fun 倶楽部代表)
- ・屋宜芳文 氏 (屋宜農園代表)
- ・兼城純 氏 (南部水道企業団 管理課 課長)
- ・伊野博一 氏 (八重瀬町農林水産課 班長)



八重瀬町の水資源

八重瀬町は水資源と暮らしが密接にかかわっています。とくに具志頭地区は雨が浸透しやすい琉球石灰岩が広く分布しており、地下水が豊富な地域です。具志頭地区に存在する湧き水の一つに、大きな泉の屋富祖(ヤフガー)があり、30年間ほど直接飲料水として利用されていましたが、現在は南部水道企業団が管理して農業用水として利用されています。南部水道企業団は、2002年から地下ダム取水を開始し、現在一日2500トンを供給しています。また、沖縄県内には1000か所を超える湧き水が存在し、生活用水、農業用水としてだけでなく、地域行事など文化的側面からも人々の暮らしに深くかかわってきました。近年では防災の役割としての湧き水も注目されています。

水資源の評価

農家さんの視点から、農業用水としての慶座地下ダムの有用性があがりました。バルブをひねるだけで水が出て、動力なしでスプリンクラーを回すことができるので、とても使いやすいそうです。地下ダムができる前は、サトウキビやイモが主な作物でしたが、地下ダムができてからはハウス栽培で野菜が出荷できるようになり、農家の収入が増えたそうです。しかし、水質管理については安全面を考慮しながら対策していく必要があります。1962年から60年間、地下水が継続して利用されているということは、八重瀬町、特に具志頭地域が豊かな水資源に恵まれている地域であることの証です。2020年度におこなった「水資源と生活に関するアンケート」では、「拝みの場」として湧き水が地域ぐるみで大切に守られていることが分かりました。

水資源を有効に活用していくための視点

- ・八重瀬町は水資源を有効に活用している先進地である。
- ・あらゆる世代が水との接点を増やしていく企画が必要である。
- ・水への理解を深め、地域全体で課題解決をおこなっていくことが重要である。
- ・行政と連携し、住民も責任を持つことのできる議論の場が必要である。
- ・地元の研究者は、自然科学的なエビデンスの提供、子どもたち、地域の方々と一緒にテーマを設定し調べるアクションリサーチの提案をしていく。



み ずのわかレヅジが始動しました！～農家さんと大学生の協働～

2022年2月～3月にかけて、八重瀬町の「カラベジファーマーズ」さんとともに、「カラベジ春の旬菜祭り」イベントを企画運営しました。イベントが行われた3月13日（日）、参加者の皆さんはカラベジカレー畑で野菜の収穫体験のあと、カレー料理を食べながら、環境問題に考慮した野菜作りや食生活について学びました。この取り組みには、SDGsや社会課題に関心を持つ大学生が「みずのわかレヅジ」のスタッフとして意欲的に参加しています。大学生の皆さんは、八重瀬町内の湧き水の現地調査をしたり、農家さんへのインタビューをおこなったり文献資料を調べるなどして八重瀬町の水利用についても様々な角度から学んでいます。「カラベジファーマーズ」の皆様は、こういった活動を継続的におこなうことができるよう、本プロジェクトを全面的に支援してくださっています。



当日は快晴。やえせのシーちゃんも遊びに来てくれました。



収穫した野菜で作った、美味しいカレーをいただきました。

水 循環プロジェクトマップの展示（八重瀬町役場ロビー）を実施しました！

4月14日（木）～5月13日（金）の期間で、八重瀬町の地下水の流れを地形模型に投影した、水循環プロジェクトマップの展示イベント、「八重瀬町の水の流れを体験しよう！」を開催しました。このプロジェクトマップは、タッチパネルを操作することによって、八重瀬町の地下水の情報だけでなく、土地がどのように利用されてきたのか、その変遷も投影して見るすることができます。



また、子どもたちが、住んでいる地域について総合的に学ぶための教材としても活用することができます。持ち運びが可能なツールですので、地元の方々からの活用アイデアも歓迎しています。この展示をご覧になったある町民の方は、「これを見て懐かしくなって、子どものころよく遊んでいたギザバンタを訪れました。」とおっしゃっていました。



「第2次八重瀬町総合計画と自然環境の保全」ポスターも展示しました。



今 年度の活動予定

今年度は、昨年度に引き続き、農家さんとの共同イベントや、昨年コロナ禍で実施を見送った、子どもたち対象の環境教育サマースクールなどを積極的におこなっていきたいと考えています。感染対策には十分配慮いたします。随時Twitterもチェックしてくださいと嬉しいです。

<https://twitter.com/MizunowaProject>



プロジェクトに関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は、下記までお寄せください。

【発行】八重瀬町・琉球大学 JST SOLVE for SDGs
プロジェクト事務局
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1
琉球大学亜熱帯島嶼科学拠点研究棟 担当：安元
Tel: 098-895-9131 (平日 13:00-16:00/ 会議やイベント等で離席することもあります。ご了承ください。)
Email: solveforsdgs@gmail.com
ホームページ: <http://mizunowa.skr.u-ryukyu.ac.jp/>